

2018年7月12日

MINI 電動モデルのデザイン詳細

⇒ MINI は 2019 年に発売される電気自動車のデザイン・スケッチを初公開した

ミュンヘン：

MINI はこのイギリスの伝統的なブランドで初となる電気自動車の細部デザイン・スケッチ 2 枚と、概要を公開した。今から 10 年前に MINI E パイロット・プロジェクトが立ち上がり、2017 年に発売されたプラグイン・ハイブリッド・モデル MINI Cooper S E Crossover ALL4 を経て、MINI ブランドの次のステップとしてバッテリー駆動式の MINI が登場する。これにより BMW グループは Number ONE > NEXT 戦略をさらに推し進めることとなる。初のデザイン・スケッチは、7 月 12 日から 15 日に英国南部のグッドウッドにおいて開催されるグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードに合わせて公開される。フェスティバルに設置される MINI スタンドでは、電気自動車標準モデルの概要を伝える、MINI エレクトリック・コンセプトを実際に体験できる。

「MINI は都会的な洗練されたブランドで、MINI の電気自動車は、未来を見据えた新しいステップを表現しています。また初公開のスケッチでは、私たちが目指す真のデザインとはどのようなものかを示しています。これは長く培われてきたブランドの伝統から、電動化の未来への架け橋となるものです」と、MINI デザインの責任者、オリバー・ハイルマーは語る。

伝統と未来をつなぐ

1 枚目のスケッチはグリルである。六角形のフォルムは、MINI の特徴的なデザイン要素のひとつで、閉じた構造となっている。新たな点としては、グリルの後方には冷却を必要とする機器がないため、良好な空気の流れのために閉じたままにすることができる。イエローのアクセント・ストリップと同色の E バッジは、強いコントラストの配色で電気自動車であることを表している。2 枚目のスケッチは、MINI 電気自動車モデルの際立つホイール・デザインを描いたものだ。これは昨年初めて発表された MINI エレクトリック・コンセプトを踏襲し、量産モデルに取り入れられている。ホイール・リムは、ラジエター・グリルのアクセント・ストリップのモチーフを取り入れ、非対称なフォルムに解釈し直されている。

2017年BMWグループは、このブランドの電気自動車の量産モデルの開発を発表している。MINI 初となるバッテリー駆動式量産モデルは、2019年に販売を開始する。これはクラシック MINI が販売を開始してからちょうど 60 年を迎える年でもある。

このモデルにより、ドライビング・プレジャー、スタイル、個性という MINI ならではのエモーショナルな体験をもたらす電気自動車を実現する。MINI 3 ドアをベースにした構造の電気自動車は、MINI オックスフォード工場、ドライブトレインは、生産ネットワークにおいて E モビリティのコンピテンス・センターであるディンゴルフィンとランツフト工場生産される。